

柔道世界選手権 女子52<sup>キ</sup>級優勝の快挙

志々目愛選手

世界の頂点に輝く

母校で後輩の指導に当たる志々目選手

8月にハンガリー・ブダペストで開催された柔道の世界選手権女子52<sup>キ</sup>級で、関之尾町出身の志々目愛選手（了徳寺学園所属）が金メダルに輝きました。

今回は、世界選手権での志々目選手の活躍と、今後の意気込みについて紹介します。

◎問い合わせ

秘書広報課 ☎23-3174

### 初出場で世界の頂点に

兄の影響で、4歳から柔道をはじめた志々目選手。地元の庄内小・中学校に通いながら、曾於市財部町の柔心館道場に毎日通い、柔道の技を磨きました。

卒業後は、宮崎日大高校、帝京大学へと進学。全日本ジュニア体重別選手権で3連覇を達成するなど、頭角を現しました。

個人戦では初めての出場となった今大会では、準決勝でリオデジャネイロオリンピック金メダリストで世界ランキング1位のケルメンデイ選手（コソボ）を激闘の末、撃破。日本勢対決となった決勝戦では、得意の内股で一本勝ちし、見事世界一に輝きました。



### 志々目 愛選手

- 出身地：関之尾町
- 所属：了徳寺学園
- 段位：3段
- 2017年の主な戦績  
全日本選抜柔道体重別選手権大会52<sup>kg</sup>級 **優勝**  
世界柔道選手権大会  
52<sup>kg</sup>級 **優勝**



### 東京オリンピックを目指して

9月上旬、都城に帰郷した志々目選手は、母校の庄内中学校や、中学卒業まで通った柔心館道場などを訪れ、優勝を報告しました。9月13日には、池田市長を表彰訪問。市長から花束が贈呈され「志々目さんの活躍が子どもたちに力を与えてくれた」と感謝の言葉が掛けられると、志々目選手は「2020年の東京オリンピックに向けて、一歩前に進めた。優勝に満足せずに、次の大会でも結果を残せるようがんばりたい」と意気込みを話しました。